

第 22 回福岡県障がい者水泳記録会開催要綱

兼 第 18 回全国障害者スポーツ大会（福井大会）水泳競技予選

- 1 目 的 スポーツを楽しめる機会を確保することにより、障がい者スポーツの普及振興を図るとともに、障がいのある人の健康維持・増進、機能の向上を図り、協調の精神を養うことにより障がいのある人の自立と社会参加を促進し、県民の障がいに対する理解と認識を深めることを目的とする。
また、この記録会は来年度に開催される第 18 回全国障害者スポーツ大会「福井しあわせ元気大会」の予選を兼ねた記録会とする。（政令市を除く。）
- 2 主 催 福岡県、福岡県教育委員会、福岡県障害者スポーツ協会
- 3 主 管 福岡県水泳連盟
- 4 後 援 福岡県特別支援学校長協会、(公財)福岡県身体障害者福祉協会、
(予 定) (福)福岡県聴覚障害者協会、(福)福岡県盲人協会、(公社)福岡県手をつなぐ育成会、
福岡県身体障害者施設協議会、福岡県知的障がい者福祉協会、(福)福岡県社会福祉協議会
- 5 協 力 福岡県・ハンディキャップスポーツ・サポートの会（FHS の会）
- 6 日 時 **平成 29 年 7 月 15 日（土曜日）**
受 付 9 時 15 分～
開会式 9 時 40 分～（体 育 館）
練習時間 10 時 00 分～10 時 20 分
競技開始 10 時 30 分～
- 7 会 場 クローバープラザ（アリーナ棟・室内プール）春日市原町 3 丁目 1-7
- 8 対 象 県内に居住する小学 5 年生以上の障がい（身体又は知的）のある人とする。
※なお、全国大会の対象者は、翌年の全国大会開催年の 4 月 1 日現在、13 歳以上の者で福岡県（政令市を除く）に現住所を有する者もしくは施設・学校等に在籍する者。
- 9 内 容 (1) 知的障がいの部 (2) 身体障がいの部 (3) リレーの部 (4×25m リレー)
- 10 競技種目及び障害区分 別紙のとおり
- 11 競技規則 適用する競技規則は、(公財)日本障がい者スポーツ協会編「全国障害者スポーツ大会競技規則」及び別に定める競技実施要領に準ずるものとする。
- 12 参加制限 1 人 2 種目以内（リレーは除く） 但し、25m 挑戦は 1 種目とする。
- 13 参加費 参加に要する費用（交通費、昼食費等）は参加者本人の負担とする。
- 14 記録証 参加者全員に記録証を交付する。
- 15 申込方法 所定の参加申込書に必要事項を記入し下記申込先へ提出すること。
団体（施設・学校・障害者団体等）で取りまとめて提出する場合は、所定の総括表を添えて申し込むこと。
- 16 申込期限 **平成 29 年 6 月 30 日（金曜日） ※期限厳守**
- 17 申込・お問合せ先 **【事務局】 福岡県障害者スポーツ協会**
〒816-0804
春日市原町 3 丁目 1-7 クローバープラザ受箱 15 号
TEL 092-582-5223 FAX 092-582-5228

第22回福岡県障がい者水泳記録会 水泳競技実施要領

1 競技規則

平成29年度に適用の全国障害者スポーツ大会競技規則（公益財団法人日本障がい者スポーツ協会制定）によるもののほか、この要領の定めるところによる。

2 競技（29年度改正のみ抜粋）

自由形に限りプールの底に立つことは失格とならないが歩くことは許されない。
（ただし25m挑戦は除く。）

競技中にレーンロープを引っ張ってはならない。

3 招集

（1）招集は、競技20分前から開始し、10分前に終了する。

（2）招集時刻に遅れた選手は、棄権したものとみなす。

4 リレーオーダーの提出

リレーオーダー用紙は、その種目が行われる60分前までに選手総合受付に提出すること。

5 介助者の役割

（1）障がいにより介助者による補助や指示がどうしても必要な選手については、あらかじめ主催者の許可を受けなければならない。「介助許可証（ビブス）」の交付を受けた者に限り、競技エリアに入場することができる。

（2）申請対象となる障害区分

ア 競技規則上可能な介助

（ア）スタート介助

身体的理由により壁をつかむことができず、かつ、身体の一部を壁に付けることができない者

障害区分 11、13、17、19、22

（イ）タッピング

a 障害区分 23

必ず介助が必要（50m種目ではスタート・ターンのサイド各1名、計2名が必要。）

b 障害区分 24、25

イ 競技規則以外で可能な介助

（ア）入退水介助

障害区分 14、15、16

ウ 競技規則以外で可能な同伴

（ア）情緒不安定

障害区分 27（他選手に迷惑をかける場合に限る。）

（イ）種目の指示

障害区分 27（泳ぐ種目を理解できない場合に限る。）

（3）禁止事項

ア 介助者、同伴者は、競技エリア及び招集所におけるコーチング（声かけを含む）をしてはならない。

（ア）他の選手の迷惑となる行為は招集所の外で対応すること。

（イ）（2）ウ（イ）で、同伴者による距離及び種目の確認のための声かけは認める。

イ 介助者は、競技エリア及び招集所において介助者として許可されたこと以外をしてはならない。例えば、カメラ、ストップウォッチ、携帯電話等の使用は認めない。

5 誘導

- (1) 競技エリアでの誘導は、競技役員及び競技補助員が行う。
なお、許可を受けた介助者のある場合は、競技役員の指示に従う。

6 浮具の使用

障がいのために、浮具の使用が必要な選手は、参加申込時に申し出があり、かつ、審判長が認めた場合に限り、両腕、首及び腰に浮具を使用してもよい。ただし、浮具は選手が用意しなければならない。

7 貸出用車椅子

競技エリア内への入場の際に車椅子が必要な選手は、原則として主催者の用意した車椅子を使用するものとする。なお、自身の車椅子を使用する場合は車輪の汚れを取り除くこと。

8 種目順

別表の種目順により競技を行うので、参加申込時に参考にすること。ただし、編成上、やむを得ず種目順を変更することがある。

【別表】

1	25m自由形	6	50m自由形
2	25m挑戦	7	50m平泳ぎ
3	25m平泳ぎ	8	50m背泳ぎ
4	25m背泳ぎ	9	50mバタフライ
5	25mバタフライ	10	4×25mリレー

9 開始式・記録証の発行

(1) 開始式

- ア 開会式は、競技開始前に2階アリーナ棟・体育館で行う。
イ 開会式に参加する選手は、開始式開始10分前までに、指定された場所に集合すること。
ウ 開会式に参加する選手は、原則として衣服を身に着けること。

(2) 記録証の授与

記録証は、各組の競技終了後に順次行う。

10 撮影

- (1) フラッシュ撮影は禁止する。
(2) 介助者によるプールサイドでの撮影は禁止する。

11 更衣

- (1) 更衣は、更衣室を利用すること。
(2) 異性の介助を必要とする者は、親子更衣室を使用すること。

12 ウォームアップ

ウォームアップについては、10時00分～10時20分までとする。

13 その他

- (1) 競技エリアへは、選手、競技役員、実施本部員、競技者及びあらかじめ許可された介助者、報道関係者、視察員等関係者以外は立ち入ることができない。
(2) 更衣室及び競技エリア以外では、水着、裸足のまま歩きまわらないこと。
(3) 参加者については、スイムキャップに名前を入れること。(選手確認のため)
(4) 土足厳禁の区域制限を守ること。(プール競技場内、体育館)
(5) 競技エリアへの飲食物の持ち込みを禁止する。ただし、更衣室内では、水分補給は認めるが、それ以外の飲食については禁止する。
(6) 観覧される方は、ラウンジ等にある椅子を動かさないようにしてください。また、他の利用者の妨げにならないように注意してください。

第22回福岡県障がい者水泳記録会 競技種目及び障害区分表

◎男女別・年齢区分別 ○男女別・1部 ●男女別・2部 △男女混合・年齢区分なし

身体障害者 年齢区分 1部(39歳以下)のみ 2部(40歳以上)のみ

知的障害者 少年(19歳以下) 青年(20～35歳) 壮年(36歳以上)

	区分番号	障害区分	競技種目		自由形		背泳ぎ		平泳ぎ		バタフライ		挑戦	4×25m リレー	
			25m	50m	25m	50m	25m	50m	25m	50m	25m				
肢体不自由	1	上肢	1	手部切断	◎	◎	●	○	●	○	●	○		※1 ◎	※2 △
			2	片前腕切断、片上肢不完全	◎	◎	●	○	●	○	●	○			
			3	片上腕切断、片上肢完全	◎	◎	●	○	●	○	●	○			
			4	両前腕切断、両上肢不完全	◎	◎	●	○	●	○	●	○			
			5	両上腕切断、両上肢完全	◎	◎	●	○	●	○	●	○			
		下肢	6	片下腿切断、片下肢不完全	◎	◎	●	○	●	○	●	○			
			7	片大腿切断、片下肢完全	◎	◎	●	○	●	○	●	○			
			8	両下腿切断、両下肢不完全	◎	◎	●	○	●	○	●	○			
			9	両大腿切断、両下肢完全	◎	◎	●	○	●	○	◎				
		上下肢	10	片上肢切断・片下肢切断 片上肢不完全・片下肢不完全	◎	◎	●	○	●	○	◎				
			11	多肢切断、片上肢完全・片下肢完全 両上肢不完全・両下肢不完全	◎	◎	●	○	●	○	◎				
	体幹	12	体幹	◎	◎	●	○	●	○	●	○				
	2	脳原性麻痺以外の 車椅子使用	13	第7頸髄まで残存	◎	◎	◎		◎						
			14	第8頸髄まで残存	◎	◎	●	○	●	○	●	○			
			15	座位バランスなし	◎	◎	●	○	●	○	●	○			
			16	座位バランスあり	◎	◎	●	○	●	○	●	○			
	3	脳原性麻痺	17	四肢麻痺(車椅子常用) 上肢に著しい不随意運動を伴う走不能	◎	◎	◎		◎						
			18	両下肢麻痺 上肢に軽度の不随意運動を伴う走不能	◎	◎	●	○	●	○	●	○			
			19	片側障害で片上肢機能全廃	◎	◎	●	○	●	○	◎				
			20	その他の片側障害で走不能	◎	◎	●	○	●	○	●	○			
			21	その他	◎	◎	●	○	●	○	●	○			
	4	22	浮具使用	◎	◎	◎		◎							
視覚障害	23	視力0から光覚弁まで	◎	◎	●	○	●	○	●	○					
	24	視力手動弁から0.03まで 視野5度以内	◎	◎	●	○	●	○	●	○					
	25	その他	◎	◎	●	○	●	○	●	○					
聴覚・平衡機能障害、 音声・言語・そしゃく機能障害	26	聴覚障害	◎	◎	●	○	●	○	●	○					
知的障害	27	知的障害	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△			

※1 オープン種目として障害区分に関係なく、25m挑戦を導入するもの。(まだ、25mの泳力に自信がない方はこの種目を選択してください。なお、制限時間は2分とします。また、スタート時よりの水中歩行は認められません。)

※2 オープン種目として障害区分に関係なく、リレー競技を導入するもの。全国大会では、知的障害のみ、リレー競技が実施されている。

※ 障害区分のスタートは、水中スタートをしなくてはならない。